

# 国語

第1問 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

現代という時代の特徴は、「宇宙から見て我々の存在が見える」ということにあります。宇宙から見て「見える」ということがどういう意味を持つのかということを見ると、現代とはいかなる時代か、我々がこれからの未来について今何を考えるべきなのか、といった問題が見えてくると思います。

## 天体としての地球が見える

1969年、人類はアポロ計画によって月に行き、月から地球の姿を見ました。皆さんもテレビや写真などで画像を見たことがあると思います。月の地表のかなたに地球が映っている。それは、宇宙に漂う天体としての地球が見えるということです。我々が地球の上に住んでいて体験する地球、つまり、大気や海、大陸といった個々の物質圏としての地球ではなくて、一つの天体としての地球が見える。この天体としての地球が我々の A の中に入ってきたということが、非常に大きな意味を持っているのです。この点がまず出発点です。

今述べたことは、B な意味でのアポロ計画の意味ですが、学問的にはもっと深い意味があります。学問的な意味まで含めて宇宙から見て「見える」ということの意味を考えてみる必要があります。実は我々が月に行って初めて、太陽系の天体として地球がたどった歴史を語ることができるようになったのです。

我々は地球の上にいるので、太陽系のなかでいちばんよく知っているのは地球のことです。しかし、地球の歴史について調べようとしたとき、試料として利用できるものは、地球上で回収される岩石などしかありません。現在我々が知っているいちばん古い試料でも、岩石では40億3000万年くらい前、鉱物で44億年くらい前のものです。また、生命の痕跡を残すような最古の岩石で38億年くらい前、最も古い細胞化石を含むようなもので34億6500万年くらい前のものです。

では、地球が生まれたのはいつなのか。いちばん古い鉱物が44億年くらい前で、すから、地球が44億年前に生まれたのかということ、そうではありません。別の理

由から、地球の年齢はもっとさかのぼることが知られているのです。

**C** 残されている記録として、地球の歴史を地球上でいくら詳しく調べても、ある年代以上にはさかのぼれないということがアポロ計画のときすでにわかっていました。アポロ計画によって月に行った結果、月には地球上より古い岩石があることがわかりました。**D** , 45億年以上前の岩石が見つかり、月という天体がたどった45億年以上も前にさかのぼる歴史がわかったわけです。月は地球の衛星ですから、月に記録されていることと同様のことが、地球でも起こり得ると考えられます。つまり、月のことがわかれば、地球のこともある程度わかるわけです。例えば、自分が子どものころのことを知りたいと思ったとき、自分自身は覚えていなくても、兄弟姉妹に聞くことによって知ることができる。この兄弟姉妹に相当するものが月であり、太陽系のほかの惑星です。

ほかの天体に行き、同様に地球を天体として見たとき、実はそういうアナロジーとして地球の歴史が語れるようになったのです。**E** , 地球上には残っていない記録がほかの天体には残っていて、その記録をもとに地球のことが語れるようになった。これがアポロ計画のもう一つの意味です。

### 地球は一つの「システム」

では再び最初にもどって、一つの天体として見える地球とは、どういうことを意味するのか。一言でいうと、地球が一つのシステムとして見えるということです。地球の上では全体が見えませんが、大気や海洋、大陸、生物圏、人間圏など、自分の身のまわりにある、地球を構成するそれぞれ個別の物質圏を語るのが、地球を語るということの従来の認識のしかたです。一方、宇宙から天体としての地球を見ると、空や海、大陸と分かれた物質圏が個別には見えず、全体が見えるわけです。つまり、大気・海・大陸・生物圏・人間圏といった物質圏が個別にあるのではなくて、それらが有機的につながった全体が見えるのです。これを専門的には地球が一つの「システム」である<sup>(7)</sup>といういい方をします。したがって、宇宙から地球を見たとき、我々の存在を含めて地球という星が一つのシステムとして認識され、そのシステムの中に組み込まれた存在として我々が認識されるということになります。

我々は自分自身が存在していることを知っていますから、月の上から地球を見たとき、自分たちの姿が見えなくても、あそこに我々はあるのだということを概念的には理解できます。しかし、その存在を画像として実際に見ることもできます。太陽の光が当たっている部分（昼間）の地球では我々の姿ははっきり見えません。しかし太陽の光が当たっていない部分（夜間）の地球には、大陸の縁を型どるように<sup>こうこう</sup>煌々と光り輝く光の海が見えます。これは、我々が今この地球上で、地球システムの構成要素の一つとして人間圏をつくって生きていることを、具体的に画像として見ているということです。このように、「F 我々の存在」という視点は、今までの“我々とはなにか”という議論で認識されていなかったことです。そして、このことが本書で述べる人間圏と従来の人間論とのいちばん大きな違いになってくるのです。このように F 存在、人間圏をつくって生きる我々とは何かということを問わないと、現代という時代の意味をとらえることはできないのです。

### 地球システム論から見た現代

現代という時代の特徴が「宇宙から見て我々の存在が見える」という点にあることは、じつは地球システムの構成要素が変わったということを意味します。今我々が認識する人間圏は46億年前に地球が生まれたときから存在するわけではありません。地球の歴史のどこかで生まれたわけです。ということは、人間圏が生まれる前と後の地球を比べると、地球システムの構成要素が変わったことになります。この構成要素の変化は、地球という星の状態としては G になります。それでは、そのような視点から地球の歴史をどう考えたらよいか。そのような視点から歴史を分けるとすると、構成要素が変化した時代を一つの時代区分として考えるのが最も普通の考え方になります。

地球を一つのシステムとして見たとき、地球史という時間スケールでも、現代という時代は時代を画する時代だということがいえます。つまり、地球システムの中に新しく人間圏が出現し、地球システムの構成要素が変わったのが現代という時代だからです。我々が現代という時代を考える場合、これまでの文明という時間スケールでの、たかだか100年の現代を考えるのが普通でした。それでは不

十分だということです。

あるいは、人間論としても、まったく新しい考え方を展開する必要があります。今まで語られてきた人間論は二つに分けられます。一つは H な意味でヒトと他の生物がどう違うのかという人間論です。また、ヒトというのは大きな脳を持ち、大脳皮質が非常に発達した生物ですが、現生人類は脳の回路の接続のしかたが変わり、I にものを認識したり考えたりすることができるようになりました。その結果、「我思うゆえに我あり」という J な人間論が展開されてきました。しかし、そういう考え方だけでは現代という時代をとらえることはできません。我々が人間圏をつくって生きはじめ、地球システムの構成要素が変わったということは、現代という時代や我々の存在を、既存の視点では語ることができないということを意味しているからです。ですから、本書では既存の視点とは違う別の視点から、我々とは何か、どこから来てどこへ行くのか、宇宙で我々のような存在は普遍的な存在なのか、ということを語っていきたいと思います。

ここで、「我々」という言葉を狭義に解釈すれば、今人間圏をつくって生きている現生人類ということになりますが、ここではもう少し広くとって、今地球上にいるあらゆる生物まで含めて、我々と呼ぶことにします。我々はどこから来てどこへ行くのか、あるいは宇宙で孤独な存在かという問いを、現生人類だけでなく、地球システムにおける生物圏にまで拡大して考えたときに、どう考えられるのかということを紹介したいと思います。それはすべてを統合し、ものごとを俯瞰的にとらえる、ということです。これは従来の二元論、要素還元主義の限界を超えることを意味しています。こういう学問が21世紀の科学として必要であり、今まさに誕生しつつあるのです。これが「宇宙から見て見える存在」ということの、もうひとつの意味です。

(出典) 松井孝典『宇宙人としての生き方 ―アストロバイオロジーへの招待―』

岩波新書, 2003年。ただし、出題のために一部変更した。

問1 空欄 A にあてはまる最も適切なものを、以下から一つ選べ。

1

- |      |      |      |
|------|------|------|
| ① 生活 | ② 記憶 | ③ 想像 |
| ④ 認識 | ⑤ 知識 |      |

問2 空欄 B にあてはまる最も適切なものを、以下から一つ選べ。

2

- |       |       |       |
|-------|-------|-------|
| ① 視覚的 | ② 直感的 | ③ 空想的 |
| ④ 宇宙的 | ⑤ 現実的 |       |

問3 空欄 C ～ E にあてはまる最も適切な語の組み合わせを、以下から一つ選べ。

3

- |           |         |         |
|-----------|---------|---------|
| ① (C) つまり | (D) つまり | (E) つまり |
| ② (C) つまり | (D) つまり | (E) しかし |
| ③ (C) つまり | (D) しかし | (E) つまり |
| ④ (C) つまり | (D) しかし | (E) しかし |
| ⑤ (C) しかし | (D) つまり | (E) つまり |
| ⑥ (C) しかし | (D) つまり | (E) しかし |
| ⑦ (C) しかし | (D) しかし | (E) つまり |
| ⑧ (C) しかし | (D) しかし | (E) しかし |

問4 下線部(ア)の意味として最も適切なものを、以下から一つ選べ。 4

- ① 各要素が互いの関係性を強めながら新たな状態を生み出しているさま
- ② 各要素が個別の機能を高めながら全体として安定的な状態を保持しているさま
- ③ 各要素が個別に変化しながら全体としてさらに機能を強化していくさま
- ④ 各要素が密接にからみ合いながら全体として一定の状態を形成しているさま
- ⑤ 各要素が密接にからみ合いながら全体としてより強固な物質圏を確立しているさま
- ⑥ 各要素が個別に変化しながら全体として精密な均衡状態を保っているさま

問5 空欄 F にあてはまる最も適切なものを、以下から一つ選べ。

5

- ① 宇宙を見つめる                      ② ちっぽけな                      ③ 地球上に生きる
- ④ 宇宙から見える                      ⑤ 唯一無二の                      ⑥ 地球を見つめる

問6 空欄 G にあてはまる最も適切なものを、以下から一つ選べ。

6

- ① 非常に不均衡な状態
- ② とてもバランスの取れた状態
- ③ 極めて危機的なもの
- ④ 明らかに不自然なもの
- ⑤ 非常に大きな違い
- ⑥ とても小さな変化

問7 筆者が考える時代区分としての「現代」はどのようなものか。最も適切なものを、以下から一つ選べ。 7

- ① 人類が月に行き宇宙から地球の姿を見たとき以降の時代
- ② 文明が発達し科学技術が飛躍的に進歩した最近100年ほどの時代
- ③ 地球システムの中に人間圏が生まれたとき以降の時代
- ④ ビッグバンによって宇宙が生まれたとき以降の時代
- ⑤ 岩石や鉱物から科学的に年代の検証が可能な時代

問8 空欄 H ～ J にあてはまる最も適切なものを、以下から一つずつ選べ。ただし、それぞれの空欄には異なるものが入る。

(H) 8 , (I) 9 , (J) 10

- ① 独創的      ② 感情的      ③ 抽象的      ④ 画一的      ⑤ 排他的
- ⑥ 実学的      ⑦ 効率的      ⑧ 哲学的      ⑨ 生物学的

問9 本文の内容として最も適切なものを、以下から一つ選べ。 11

- ① 従来の人間論は一元的であるから、全く新しい視点で考える必要がある。
- ② 人間圏を形成して生きる我々について俯瞰的に考えることで、現代という時代の意味をとらえることができる。
- ③ 21世紀の科学に必要なのは、専門的見地からさまざまな事象を詳細に分析してものごとを俯瞰的にとらえる視点である。
- ④ アポロ計画の成功によって、これまで知られていなかった太古の地球のシステムが明らかになった。
- ⑤ 月から地球を見ると、そこで生活している我々ひとり一人の姿を具体的に想像することができる。

## 第2問 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

2014年のドイツでは、電力の平均価格は1 kWh あたり29.8セント（約40円）だった。最近メディアでは「電気代が高すぎる」との報道が頻繁にみられ、「高いのは再生可能エネルギーのせい」「高くて支払えず、電気を止められた家庭が出ている」と批判口調である。ひいては「再生可能エネルギー政策は失敗した」とまでいわれている。電気代が高いのは、本当に再生可能エネルギーのせいなのだろうか。

1998年より電力市場が自由化されているドイツでは、電力は株のように市場で売買されており、電力小売業者の多くはこの市場で電力を調達している。FIT<sup>(ア)</sup>（フィードイン・タリフ）制度により買い取られた再生可能エネルギーは電力のスポット市場\*にて取引される。FIT 制度による買い取り価格と市場価格との差は「賦課金」として、消費者全員に配分されることになっている。つまり再生可能エネルギーを購入した人だけでなく、原則として電力消費者全員に賦課金が課されることになり、2014年は1 kWh あたり6.24セントだった。これは電力料金の約2割にあたり、平均的な4人家族世帯（年間3,500kWh 消費）では、218ユーロ＋消費税19%の負担となる。

アルミニウムや鉄鋼工場など電力の大口消費会社は、賦課金の減免を受けている。電力料金が高くなると、国際競争に勝てないという解釈からだが、ドイツ鉄道など国際競争と関係ない会社も減免となっている。さらにフォルクスワーゲンなど自家発電している企業も、賦課金を払わなくてよい。ドイツ環境自然保護連盟によると、発電量のほぼ半分において賦課金が負担されていないという。2013年は総額40億ユーロが免除され、その分、一般世帯や中小企業が負担している。つまり大企業は負担せず、その分小口消費者が負担するというゆがんだ構造になっており、それが電力料金を押し上げている。

シェーナウ電力会社のエネルギー担当エヴァ・シュテューゲンも「電力料金が高いのは、電力を大量消費する会社が賦課金免税の恩恵を受けているから」と憤る。2009年にキリスト教民主同盟と自由民主党が政権を組んでから賦課金は倍々に伸びてきた。2009年には1 kWh あたり1.20セントだったのが、2014年は6.24セン



トと5倍以上に。ところが再生可能エネルギー法による買い取り総額は108億ユーロから189億ユーロと倍にもなっていない。本来なら賦課金は、再生可能エネルギーの伸びに比例するはずである。

「再生可能エネルギーの買い取りの助成金の半分は太陽光発電に投入されているが、ソーラー発電は再生可能エネルギー分野の5%しかない」という声も聞く。しかし発電コストの安い太陽光発電により、A。太陽光発電量は2007年は3,100GWhだったが、2011年には18,500GWhと5倍になった。おかげで午前11時から12時の1時間、2011年の電力市場の価格は2007年と比べて4割減となっている。つまり大口消費企業は負担額を払わなくていい上、市場で安く電力を調達できるという二重の恩恵を受けている。

しかし一般消費者に恩恵はない。市場での電力料金が下がっても、消費者への電力料金は上がる一方だ。市場価格と買い取り価格の差が大きくなればなるほど、その分が賦課金として一般消費者に課されるからである。

ドイツでは1970年から2012年まで原発に1,870億ユーロ、石炭や褐炭には1,770億ユーロの補助金が費やされた。一方、再生可能エネルギーへの助成金は約540億ユーロだったという。コストは誰かが負担しなければいけない。その際、コストが見える化されているか否かが重要になる。原発は廉価だと宣伝されてきたが、研究開発費など見えない形で多額の税金が費やされてきた。加えて核廃棄物処理や廃炉のための費用や、事故が起こったときの補償コストが上乗せされると、莫大な額になる。

ドイツ政府は2022年の脱原発に向けエネルギーシフトを推進しているが、2014年8月に再生可能エネルギー法を大きく改正した。<sup>(ウ)</sup>連邦経済エネルギー省のホームページによると、「エネルギーシフトは経済的に成功してこそ、すべての市民が利益を受けることができる」とし、電気料金の値上がりを防ぎ、適切に再生可能エネルギーを推進するための法改正と位置付けている。しかし初めて再生可能エネルギーの伸びに上限を設け、電力の販売先をいずれは自分で見つけなければいけないなど、影響は計り知れない。

再生可能エネルギーを推進するために、ドイツでは2000年より再生可能エネルギー法により、20年間固定価格での買い取りを保証するとともに、再生可能エネ

ルギーによる電力を最優先すると決めてきた。発電設備を自宅に設置した場合でも全額買い取りが保証されており、日本のように家庭で使用した後の残りだけが買い取りの対象となるわけではないため、金銭的なメリットが大きい。

そもそもこの法律は再生可能エネルギー分野の拡大と B を狙ったもので、毎年買い取り価格は下げられてきた。いずれ市場競争で耐えうるようにするのが目的で、この制度が成功すればするほど縮小され、消える運命にある。ドイツを手本に、すでに世界50ヶ国以上で同様の法律が導入されている。現在は賦課金の総額は240億ユーロだが、この負担を減らすための法改正であり、エネルギーシフトの新しいスタートと同省は強調している。

全量買い取りは容量500kW以下の発電施設に限定され、それ以上の施設は自分で販売先を見つけなければならない。いわゆるフィードイン・タリフ（FIT）制度からフィードイン・プレミアム（FIP）制度への移行で、プレミアという形で助成金がおろるが、リスクは大きくなる。再生可能エネルギーを扱う電力会社と契約できればよいが、できなければ電力市場での自由取引となり、素人には敷居が高い。2016年1月からはさらに100kW以上の発電施設が対象となる。

太陽光、陸上風力は年間最大2,500MWまで新規建設を可能とした。バイオマスは毎年100MWを上限とし、新規建設には生ごみや食べ残しを原料としたものだけ許可する。特にバイオマスの上限は厳しい。上限を越えると C となっている。現在の買い取り価格は、発電設備の大きさに応じて1kWあたり11～16セントである。

政府はこれまでの再生可能エネルギーの成長は早ければ早いほどいいという方針を改め、買い取り価格を抑えることで、バイオマスや太陽光、風力発電の設備の新規建設の増加を抑えようという計画である。

D，洋上風力は特別待遇となっている。設備投資が高いため、発電された電力は1kWhあたり18セントで買い取られる上、2020年までに6,500MW、2030年までに15,000MWと発電力の目標を高く掲げている。しかも、発電したが生電線の不備で供給できなかった場合の補償もされることになっている。

さらに自家発電自家消費の電力にまで、賦課金の負担が発生するようになった。2014年8月以降に稼働となった再生可能エネルギー以外の発電では、賦課金は全

額負担となる。再生可能エネルギーの電力源やコジェネレーションでの発電により生まれた電力については、2015年末まで賦課金の30%、2016年は35%、2017年以降は40%の負担となる。一方、2014年7月末までに稼働となった電力源については、将来もずっと賦課金の負担はない。

ドイツは再生可能エネルギーを推進してきたが、予想以上の伸びで送電線整備が追いつかず、波のある発電量に対応できないでいる。それはなぜだろうか。オストファリア大学のエネルギー最良化システム研究所のヨルゲン・クック教授は、「再生可能エネルギーだけによるエネルギー経済は、これまでの再生可能エネルギーを一部含む省エネの化石燃料エネルギー経済とはまったく異なるからだ」と断言する。エネルギーシフトの推進が混迷しているのは、既存のエネルギーシステムを前提とした対応をしようとしているからだ。つまり、いずれ E を目指すなら、考え方を根本から改めなければならない。

＊スポット市場・・・電力需要と供給状況の変化により随時変動する価格で電力を売買する市場

(出典) 田口理穂『なぜドイツではエネルギーシフトが進むのか』学芸出版社、2015年。ただし、出題のために一部変更した。

問1 空欄 A にあてはまる最も適切なものを、以下から一つ選べ。

12

- ① 火力発電による発電量は大幅に減少している
- ② 原子力発電による発電量は大幅に減少している
- ③ 昼間のピーク時の電気料金が大幅に下がっている
- ④ 昼間のピーク時の電気料金がわずかに下がっている
- ⑤ 一般消費者の電気料金が大幅に下がっている
- ⑥ 一般消費者の電気料金がわずかに下がっている

問 2 空欄 B にあてはまる最も適切なものを、以下から一つ選べ。

13

- ① 脱火力発電                      ② 脱原子力発電                      ③ 雇用の確保
- ④ 技術革新                      ⑤ エネルギーの安定調達

問 3 空欄 C にあてはまる最も適切なものを、以下から一つ選べ。

14

- ① 他の発電設備に変更を求める仕組み
- ② 固定買い取り価格が優遇される仕組み
- ③ 固定買い取り価格が下がる仕組み
- ④ ペナルティとして罰金が発生する仕組み
- ⑤ 税制上の優遇措置が取り消される仕組み

問 4 空欄 D にあてはまる最も適切なものを、以下から一つ選べ。

15

- ① 一方                      ② 加えて                      ③ したがって
- ④ なかでも                      ⑤ たとえば

問 5 空欄 E にあてはまる最も適切なものを、以下から一つ選べ。

16

- ① 化石燃料に頼らないシステム
- ② 原子力発電に頼らないシステム
- ③ 省エネがさらに進んだシステム
- ④ 洋上風力エネルギーのみでのシステム
- ⑤ 再生可能エネルギーのみでのシステム

問 6 下線部(ア)の説明として最も適切なものを，以下から一つ選べ。 17

- ① 再生可能エネルギーによって地球温暖化を阻止するための制度
- ② 再生可能エネルギーによって企業の国際競争力を維持するための制度
- ③ 再生可能エネルギーによって企業の国際競争力を向上させるための制度
- ④ 再生可能エネルギーを一定期間，固定価格で買い取る制度
- ⑤ 再生可能エネルギーを10年間，固定価格で買い取る制度
- ⑥ 再生可能エネルギーを20年間，発電コストの倍の価格で買い取る制度

問 7 下線部(イ)について，実際にはそうならなかった理由として最も適切なものを，以下から一つ選べ。 18

- ① 国際競争にさらされている一部の大企業が賦課金を免除されたため
- ② 電力の消費者が均等に賦課金を払う仕組みではなかったため
- ③ 一般家庭のみが賦課金を負担する仕組みだったため
- ④ 政府による電気料金への補助金が拡充されたため
- ⑤ 政府による電気料金への補助金が減少したため

問 8 下線部(ウ)の内容として最も適切なものを，以下から一つ選べ。 19

- ① すべての再生可能エネルギーの増大に向けて支援を拡大する。
- ② すでに稼働していた再生可能エネルギーにも賦課金を課す。
- ③ 設備投資のコストが高いため，特に陸上風力と洋上風力への支援を拡大する。
- ④ 2014年を基準にして原子力による発電量を半分にする。
- ⑤ 森林資源の活用を目的としたバイオマス発電は対象外とする。

問9 本文中での「賦課金」の説明として最も適切なものを、以下から一つ選べ。

20

- ① 再生可能エネルギーの普及を進めるために消費者が負担する費用
- ② 原子力発電による電力に課される追加の費用
- ③ 再生可能エネルギーの発電事業者が追加で負担する費用
- ④ 太陽光発電の事業者を支援するために消費者が負担する費用
- ⑤ 再生可能エネルギー以外の電力に課される追加の費用

問10 本文の内容としてより適切なものを、以下から二つ選べ。

21

,

22

(順不同)

- ① 再生可能エネルギーの成長を最優先とした政策を継続していく。
- ② 再生可能エネルギーの拡大に送電線の整備が追い付いていない。
- ③ 再生可能エネルギーの買い取り価格を可能な限り維持する方針である。
- ④ 一般の消費者は賦課金を許容範囲として受け入れている。
- ⑤ 賦課金の負担増で再生可能エネルギーへの反対運動が起こっている。
- ⑥ 原発の発電コストは再生可能エネルギーより低い。
- ⑦ 政府は20世紀の後半から21世紀の初頭にかけて原発に多額の補助金を支出した。
- ⑧ これからは政策として洋上風力発電や地熱発電に注力する。

第3問 各問いの二重下線部のカタカナと同じ漢字を使うものを、以下から一つ選べ。

問1 君主としてイゲンのある態度を示す。 23

- ① 悪霊が霊媒師にヒョウイする。
- ② 海外で華々しく活動する作家にイケイの念を抱く。
- ③ 職場の仲間とイアン旅行に出かける。
- ④ 災害現場で自然のモウイを感じた。
- ⑤ ジンイテキな開発によって豊かな森が消滅した。

問2 彼はザンニンな独裁者だ。 24

- ① 友人にカイニン祝いを贈る。
- ② 友人の不誠実な態度にカンニンブクロの緒が切れた。
- ③ あの俳優はバンニンから愛される国民的なスターだ。
- ④ ネットサービスを利用する際に二段階ニンショウを求められた。
- ⑤ わが家はハウニン主義の家庭だ。

問3 勝ち目がない試合で自分からコウサンする。 25

- ① 地図をサンショウしながら目的地を探す。
- ② 海辺にあるサンバシで釣りを楽しんだ。
- ③ 街はずれの商店街はカンサンとしていて活気がない。
- ④ モノミユサンな気分温泉地に出かける。
- ⑤ サンコの礼を尽くして新しい人材を迎え入れた。

問4 シリメツレツな言い訳で失笑された。 26

- ① 奨学金で学費をシベンする。
- ② シワスは年越しの準備で忙しい。
- ③ 責任ある仕事に就きシメイカンに燃える。
- ④ コシタンタンと狙いを定める。
- ⑤ 仕事で失敗してシマツショを書かされる。

問5 陽あたりのいい窓辺でゴスイする。 27

- ① ゴフク店できれいな着物を買う。
- ② 洪水に備えてゴガン工事を行う。
- ③ ゴコクハウジョウを祈って秋祭りが行われる。
- ④ 私にとって一番のゴラクはゲームをすることだ。
- ⑤ 宮中で華やかなゴサンカイが開催された。

問6 まわりは敵ばかりで、まさに、シメンソカとしかいえない状況だ。 28

- ① 同期入社の中かで、一番はじめに営業カチョウに昇進した。
- ② カチョウフウゲツを愛でる趣味人。
- ③ カサイ保険は地震災害に対応していない。
- ④ カショウリョクを認められて劇団にスカウトされた。
- ⑤ 筋トレの基本は、筋肉にフカをかけることである。

問7 嘘もホウベンという言葉がある。 29

- ① 中世日本武士社会では、ご恩とホウコウが基本であった。
- ② 霧の中でホウコウ感覚を失った。
- ③ トイレの中にホウコウ剤がおいてある。
- ④ 戦艦の巨大なホウコウから弾丸が発せられた。
- ⑤ 成績不振で大学からホウコウ処分となった。



問 8 世論調査にイッキイチユウする。 30

- ① ユウコクの情に突き動かされた事件。
- ② 源氏物語の登場人物の中ではユウガオが好きだ。
- ③ シユウを決する闘いに敗北した。
- ④ ユウキを振り絞り，プロポーズした。
- ⑤ 夜に柳の下で見たものはユウレイだ。

問 9 鳥類におけるシンカの過程を物語る化石が発見された。 31

- ① 重傷者のシンパクが再開して，一命をとりとめた。
- ② シンラバンショウを司る人間など存在しない。
- ③ 足の疲れをとるためにクッシン運動をした。
- ④ 自分をカシンしすぎて試合に敗れた。
- ⑤ 論壇にシンシン気鋭の若手作家が登場した。

問10 困難な状況の中で，死中にカツを求める。 32

- ① サーフィンで日に焼けたカッショクの肌。
- ② 大事な試合でカツヤクするエースで4番バッター。
- ③ 海外の大学に進学することをカツボウする。
- ④ 人間関係のジュンカツユになれる人物は貴重だ。
- ⑤ 借金のイッカツ返済を求められた。